

編集・発行

天台宗 東圓寺

電話：84-4114

Fax：84-4104

http://toudenji.jp/

平成30年 年末号

東圓寺だより



## 特別祈祷

く 不二の祈り く

台風の影響は、ニュース報道しきれないほどの被害があったようです。比叡山でも停電が続き、3日間全山拝観停止となったそうです。千日回峰行者上原阿闍梨様の御自坊である滋賀県近江八幡市にあります伊崎寺でも、ご神木と言われるほどの太い木が強風によって鐘樓の屋根に倒れてしまいました。伊崎寺にお参りするためには、2キロほどの山道を歩かなければならず、細い山道に重機は入ることができません。倒れた大木は人力で少しずつ切っていくしかありません。日々の作務に加えて大木を切る作業に追われるという想像もつかない大変な中、上原阿闍梨様はそのようなことを微塵も感じさせることなく東圓寺にお越しくださいました。皆様の願意は、阿闍梨様の法力によってお不動様にお聞きいただけたことと思います。後日、「不二の祈り」に3年ほど続けてお越しになられている方から、嬉しいお便りを頂戴しました。ご報告させていただきます。「東圓寺の皆様、お手伝いくださっている方が年に一度の決まった行事だと機械的ではなく、阿闍梨様を東圓寺を富士を忍野村を大切に思う心が伝わってきて、来年も皆さまとお会いできることを楽しみにしています」と、お手伝いくださる人々の温かな気持ちが嬉しかったという内容のものでした。人それぞれ大切に思うことは違っていると思いますが、誰かを思い願うこと、その気持ちを阿闍梨様は大切に思ってください、「不二の祈り」は継続することができているのだと思います。役員を始めお手伝いいただいた皆様に篤く御礼申し上げます。

### 仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店

口座

普通

121086

東圓寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので必ず戸主がわかるようにして下さい。

光陰矢の如しと言われますが、今年も残すところあと僅かになりました。本年も、正月の初不動交通安全護摩祈祷大祭や四月の子育地蔵尊祭、お盆、秋祭り、上原阿闍梨様による不二の祈り、最後は御会式とたくさん行事がありました。六月の比叡山への回参も参加者が多く、意義ある供養を行うことができました。今年も、多くの檀徒の皆様のご協力のおかげで感謝申し上げます。六月の比叡山への回参してご活躍された長田新一様、総代長の長田利勝様のご逝去と悲しいお別れが続きました。お二人の働きに対して感謝することも、心よりお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。又、日頃より、皆様の菩提寺である東圓寺に対しての暖かいお心遣いやご協力に感謝申し上げます。これからも住職、檀徒総代、寺世話人をはじめ檀徒の皆様と協力して東圓寺のさらなる発展を目指し努力を重ねますので、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

合掌

# 東円寺初不動交通安全祈願祭

1月28日 午後2時より

東円寺の初不動大祭は、交通安全祈願が主であります。昭和40年代、自動車の普及により、死亡事故が急増しました。これを受けて、当時の忍野村交通安全協会会長様の発願によって交通安全祈願祭が行われ、現在に至っています。以後、富士吉田警察署からも署長さんを始め数名の署員さんがお越しくださっています。忍野村におきましては、交通死亡事故ゼロが今年7千日を突破し、山梨県知事から表彰されています。現在も更新中です。人の悩みは尽きません。年初め、今年が良き年となりますよう心を込めて祈祷させていただきます。別紙にて、祈祷申込用紙をご用意させていただきました。又、合格祈願等も受け付けております。ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



## ◆のぼり幡奉納寄付◆

随時受け付けております。1枚3千円  
祈願申込みは、当日混雑が予想されますので  
1月20日までにお願い致します。

※当日受付可

## ～11月3日～

当山でお会式が行われる11月3日は、比叡山無動寺谷を開かれた相応和尚のご命日であります。そのため、毎年11月3日には、比叡山無動寺谷において「八千枚大護摩供」という行事が行われています。

今年は、私の修行時代にお世話になった浩元大阿闍梨が明王堂の輪番（管理者）に補任されてから初めての行事のため、お手伝いに行かせていただきました。2日のお昼から3日のお昼にかけ断食断水不眠不臥で8座の護摩供を修法され、1万3千本の護摩木を焚き、皆様の願いを届けていただきました。阿闍梨様は行事に向け、3が月前から五穀塩断をされており、ただならぬ空気が流れていました。当日の緊張感は、身が引きしめる反面、上原大阿闍梨の八千枚大護摩供の時を思い出し懐かしく思いました。行事が終わってからの阿闍梨様の笑顔は、行への真剣さを感じさせられました。

私が当山の大きな行事にも関わらず、当日おりませんでしたことでご心配をおかけしましたが、本山で勉強になることは多く、自分の未熟さを改めて感じさせられました。この経験で得たことを当山で活かせるよう、今後も精進を重ねたいと思います。

慈法 記



相応和尚（831年～918年）

## ～大晦日には、除夜の鐘を撞きましょう～

毎年12月31日の夜中より元旦にかけて、除夜の鐘を撞いています。除夜の鐘は一年の終わりであると同時に、新しい年の始まりでもあります。行く年来る年の要に響き渡る鐘の音と共に、新年に向けての新たな決意を呼び起こしてくれます。是非、東円寺の除夜の鐘を撞きに來てください。温かい汁物や甘酒などをご用意してお待ちしています。



お願い  
泥酔状態での鐘撞きは  
とても危険なので  
やめましょう。

## ～諏訪明神大祭～



雨の中、門前にて祈願の様子

「祭り」を辞書で調べますと、「感謝や祈り慰霊や鎮魂のために、神仏および先祖をまつる行為（儀式）であり、供物が捧げられる」とあります。平安時代は、単に祭りと言いますと、京都の「葵祭」のことをさしました。また、祭りの起源は、欽明天皇（567年）が国内の風雨が激しく作物が実らなかったので占うと、賀茂の神々の祟りであると言われ、祭儀を行い流鏝馬神事などが行われました。現代では祟りなどという言葉は死語ですが、どれほど科学が進歩しても、自然災害がなくなることは難しいことです。また、科学が進歩することにより、便利な生活が当たり前になり、災害によって生活や気持ちに大きな支障がでることを経験し、そこで改めて現在の便利な生活に感謝します。

ここ数年、各地で多くの災害が起こり、他人事ではないことを痛感している方も多いのではないのでしょうか。今年の諏訪明神大祭は、天候に恵まれず冷たい雨が降っていました。しかし、お神輿を担ぐ人々は、悪天候を感じさせないほど、元気で陽気でした。神様仏様ご先祖様に対する村人の篤い思いは、神仏に確かに届けられたことでしょう。

## ～お会式ご報告～

今年11月3日は土曜日で2連休、少しずつ紅葉がすすみ穏やかな日でした。「アド街ック天国」というテレビ番組で忍野村が放映された影響もあって忍野村は観光客が多く、山梨方面は大渋滞でした。お会式にご随喜いただく住職方は、千葉県と東京都と神奈川県からお越しいただいています。千葉・東京ともに4時間かかったと聞きました。11時開式予定でしたが、10分ほど遅れて始まりました。千葉のご住職は、御詠歌の講師をされているので、皆様にお待ちいただく10分の間、御詠歌についてお話していただきました。

お話が終わったことを合図に御詠歌が始まりました。御詠歌終了後、導師入堂の合図に梵鐘が鳴り響きます。風は冷たく感じますが、小春日和の中、厳かに両大師会は無事円成いたしました。手伝いを合わせまして総勢120名ほどの方が参列されました。役員の皆様、ご参列いただきました檀徒様に衷心より御礼申し上げます。



「かわら版」をご覧ください  
行事の様子や会計報告などをさせて  
いただいています。本堂や客殿、本堂  
脇の掲示板などに掲示しています。



次回団参予定

2019年 6月2日（日）～6月4日（火）

比叡山先祖供養団参

「愛知犬山・大井川鉄道」方面

詳しくは東円寺だより「春彼岸号」にて  
お知らせいたします。

どうぞお楽しみに。

## 寺庭のつばゆき

雪化粧した富士山は凜として美しい姿を見せてくれておりますが、富士山の雪化粧は、忍野村の厳しく長い冬の到来を教えてくれる風景です。振り返りますと、今年は日本列島様々な地域で災害が起こり多くの尊い命が奪われ、被害に見舞われました。その爪痕は今も消えることなく残っております。そのような中、東円寺におきましては、年中行事を何一つ滞ることなく努めることができましたことは、当たり前なことではないと感慨深く思っております。また、檀徒の皆様、東円寺を支えてくださる役員様の御尽力とご協力に深く感謝申し上げます。

冷たい雨の降る中、諏訪明神大祭が今年も盛大に執り行われました。古より守り継がれてきた伝統を絶やすことなく、豊かな自然と温かな人々との交流を引き継いでいくことが、富士の恵みをいただき暮らしている私たち氏子の務めであると感じております。お役目によってその責務は違いますが、一つ一つ丁寧に行事に取り組む姿勢が未来に繋がっていくと信じております。それは、10月3日行われております千日回峰行者上原阿闍梨様による「不二の祈り」、11月3日行われています「お会式」におきましても、多くの恵によって生かされていることへの感謝の気持ちを重視して準備させていただいております。

私事ですが、11月18日観音様のご縁日に孫の七五三のお祝いをさせていただきました。御仲人であります妙圓寺の奥様、また、東円寺の役員の皆様にもご参列いただきました。様々な行事のたびに、孫たちは皆さまからお声をかけていただき、見守っていただきながら成長させていただいております。そのような交流の中から、東円寺という歴史ある寺院を愛し、郷土を愛し、関わり合う多くの人々を愛おしく思えるような心が育ってくれるよう願っております。

「比叡山時報」第765号に鎌倉時代の僧兼好法師の「徒然草」が紹介されておりました。「花は盛りに、月は隈なきを見るものは・・・」と言って、「花は満開の時だけを、月は曇りが無い時だけをみるのであろうか、いやそうではない。」と。雨の日にはその雨空の上に輝く月を思ひ想像して雨を楽しむのも一興であると。私たちは、日々目の前に起こった出来事だけを思い一喜一憂してしまいます。けれども、変化する物事の奥側に仏様の思し召しがあるではないかと思う心によって、豊かな感情は生まれてくるのかもしれない。今後も東円寺の更なる発展に精進して参りますので、ご支援のほどよろしく願いいたします。

### ～観音堂再建基金浄財寄進者～

平成30年10月吉日

長田龍一殿 金30万円

平成30年11月吉日

大森一芳殿 金50万円

平成30年

11月31日現在の再建基金

19,146,703円

### ☆ご詠歌に参加しませんか☆

3月～12月

第2・第4月曜日午後2時～3時

※行事によって変更有り。

### 一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを实践する一つの組織として、天台宗一隅会（一隅を照らす運動）があります。賛同して下さる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。